

**緊急集会！**

# 「挺対協が目指してきたこと これから目指すこと」



～日本軍「慰安婦」被害者の思いを受けて～

2015年の日韓「合意」後、日本国内ではマスコミの偏った報道もあり、挺対協に対して「反日団体」「利権団体」「被害者の人権無視」などの誹謗中傷や、市民の中にも「問題を長引かせている団体」というイメージがあります。しかし、挺対協主催の水曜デモには中学生や高校生の若い世代も大勢参加し、日本国内や海外からの参加者も多く、メッセージだけでなく歌やダンスなどのパフォーマンスも繰り広げられ、学びと交流の場であり、そこには、必ず高齢の被害者ハルモニたちの姿があります。水曜デモに代表されるようにハルモニたちと挺対協、そして韓国市民にはこれまで培ってきた、ゆるぎない信頼関係があります。しかし日本では、その姿が正しく報道されていないため多くの市民は、被害者ハルモニたちに寄り添い、尊厳回復のために歩んできた挺対協と韓国での「慰安婦」問題の取り組みを知らされていません。今回尹美香常任代表をお招きし、これまでの挺対協の歩みと、「私たちが戦争の被害者だけど、私のような被害者を再び出してはならない」という被害者の崇高な思いを引きつぎどのような未来・夢を作りだそうとしているのかお話しいただきます。その中から共有する課題、私たちが運動として取り組むこと、個人としてできることなどを考え、ともに未来を見つめて行く場となるよう企画いたしました。

講師 <sup>ユン</sup> <sup>ミ</sup> <sup>ヒャン</sup> **尹美香** さん (韓国挺身隊問題対策協議会常任代表)

韓国挺身隊問題対策協議会(挺隊協)とは・・・

1990年 韓国の37女性団体の連合団体として結成。  
結成当時は、韓国国内でも日本国内、国際的にも注目されていなかった日本軍「慰安婦」問題を世に問い、被害者の名乗り出を促し、国際的な連帯運動をリードしてきました。

☆水曜デモ主催

☆シェルター 平和のウリチブ(わたしたちの家)運営

☆戦争と女性の人権博物館運営



**日時：2018年6月12日(火)**

**18時30分～20時30分(開場18:00)**

**会場：かでの2.7 研修室710 (中央区北2西7)**

**参加費：500円**

**主催：日本軍「慰安婦」問題の解決をめざす北海道の会**

**問合せ：011-711-1910(ギヤラリー茶門)12時～17時**